

Noh Climax



二〇一八年一月二十七日 土
二回公演：十三時・十七時開演
会場：セルリアンタワー能楽堂



企画・監修：杉本博司
演出・囃子作調：亀井広忠

主催・企画制作：公益財団法人小田原文化財団
協賛：ドン・ペリニョン



杉本博司 vs 10人の能楽師

杉本コレクションと対峙する
10人のそれぞれの「時・空・感」を観る。

Noh Climax

このたび、杉本博司が若手能楽師へ放つミッションは、杉本が所有する
いにしへの能面コレクションの魅り。杉本から差し出された能面に触発
された能楽師は、能面に相応した曲を持ち寄り、おのおのオリジナリ
ティあふれる「面」の表現をすること、杉本に伝える。

能舞台では、鏡板に代わるものとして、二双の屏風(杉本コレクション)
を用い、「明」「暗」と、二様の世界観を演出する。

能 クライマックス

杉本博司

ノークライマックスは不感症と訳す。冥界との交信装置がわが国固有の
演劇形式としての「能」であると私は常日頃から思っている。冥界との
交信には陰陽師や巫女などの特殊技能集団もいたが、日本人が潜在的
に持っている冥界交信能力に訴えかける演劇として能は発展してきた。
神も仏もない近代化の果ての現代に至って、日本人の冥界交信能力は
絶滅期を迎えつつある。社会そのものが不感症の時代に陥ってしまった
のだ。私は今、能のクライマックスに向けて、私のもとへと参集してき
た、いにしへの能面達に登場願うことにした。不感症の治療には、あの
昔日の喜びを思い出すしかないのだ。

杉本博司 プロフィール

1948年東京御徒町生まれ。1970年渡米、1974年よりニューヨーク在住。活動分
野は、写真、彫刻、インスタレーション、演劇、建築、造園、執筆、料理、と多岐に渡る。杉
本博司のアートは歴史と存在の「過性をテーマとしている。そこには経験主義と形而上学の
知見を持って、西洋と東洋との狭間に觀念の橋渡しをしようとする意図がある。時間の性質、
人間の知覚、意識の起源、といったテーマがそこでは探求される。2008年に建築設計事
務所「新素材研究所」、2009年に公益財団法人小田原文化財団を設立。2017年10月
には小田原文化財団(江之浦測候所)が開館。1988年毎日芸術賞、2001年ハッセルプ
ラッド国際写真賞、2009年高松宮殿下記念世界文化賞(絵画部門)受賞。2010年秋
の紫綬褒章受章。2013年フランス芸術文化勲章オフィシエ叙勲。2017年文化功労者。



「狸々」



「小面」



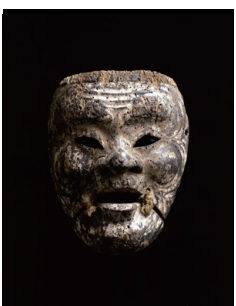
「真蛇」



「瘦男」



「平太」



「父尉」

出演者

◎シテ方

- ・大島輝久
- ・坂口貴信
- ・谷本健吾
- ・大島衣恵
- ・鶴澤光

◎囃子方

- ・竹市学 (笛)
- ・吉阪一郎 (小鼓)
- ・亀井広忠 (大鼓)
- ・大川典良 (太鼓) 13時公演
- ・林雄一郎 (太鼓) 17時公演

プログラム

上演時間90分予定

一 「序」

- ・父尉 大島輝久
- ・お話し 杉本博司

二 「暗」

- ・平太 谷本健吾
- ・瘦男 坂口貴信
- ・真蛇 大島輝久

三 「明」

- ・小面 鶴澤光
- ・狸々 大島衣恵

休憩

表面写真上段：「松岡屏風」(六曲一双)

下段：「松岡屏風」(六曲一双)

進藤尚郁 享保20年(1735)
杉本博司 平成29年(2017)



セルリアンタワー能楽堂
〒150-8512 東京都渋谷区桜丘町26番1号B2F
tel: 03-3477-6412
各線渋谷駅より徒歩5分

◎公演日程 2018年1月27日(土) 1日2公演

公演① 13時開演(開場は12時30分)
公演② 17時開演(開場は16時30分)

◎チケット料金

A席 正面 10,000円
B席 脇正面 10,000円
C席 中正面 8,000円

◎一般チケット発売日: 2017年12月1日(金)

◎チケット取扱い

・チケットぴあ
0570-02-9999 (音声自動応答Pコード482-991)
<http://pia.jp/> (PC・携帯・スマートフォン共通)
チケットぴあ、セブンイレブン、サークルK・サンクス各店舗で
直接購入可能

企画・監修: 杉本博司
演出・囃子作調: 亀井広忠

主催・企画制作: 公益財団法人 小田原文化財団
制作協力: 株式会社 ハースト婦人画報社
協賛: Dom Pérignon

お問い合わせ: 公益財団法人小田原文化財団
tel: 0465-42-9170 (平日10:00-16:00 / 水曜日・休館日を除く)
<http://www.odawara-af.com/>